

農業・農村の復旧・復興へ取り組みは どうなっているの？

県では、津波被害を受けた沿岸部の農地および損壊した農業用施設の復旧を最優先に進めています。浸水被害を受けた地域においては、市町が作成した復興計画の実現に向け、農地などの再編整備や広域的で大規模な土地利用を図るための取り組みを行っています。このほか、効率的な営農方式の導入や法人化などによる農業経営体の強化、農業の高付加価値化を進め、魅力ある農業・農村の復興に取り組んでいます。

ここが知りたい！ 宮城県政 ～復興へ頑張ろう！～

津波被災市町の水稲作付状況

項目	作付状況	作付見込みなど
水稲 (H24年度作付 面積19,449ha)	約82%	【H24年度作付面積】 15,878ha (沿岸15市町) 【今後の作付見込み】 平成26年度末 100% (平成24年12月20日農林水産省公表)



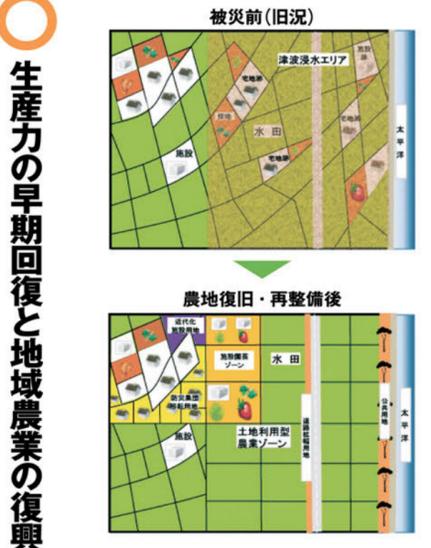
農業生産施設の復旧状況

項目	復旧率	復旧見込みなど
園芸施設 (損壊施設面積 約3,000ha(推計))	約27%	【復旧面積】 820ha 【今後の復旧見込み】 平成24年度末 47ha 平成25年度末 87ha 平成26年度以降 84ha
畜舎・畜産関連施設 (被災施設108)	約52%	【復旧施設数】 56施設 【今後の復旧見込み】 平成24年度以降 52施設 (平成25年1月末現在)



生産力の早期回復と地域農業の復興

農畜産物の生産力を早期に回復させるため、営農の再開に向けた技術・経営支援を行うとともに、被災した農業生産施設や農業機械等の一体的な整備を支援しています。また、震災により被害を受けた地域農業の復興を図るため、経営再開マスタープランの作成やその実現に向けた取り組みを支援しています。このほか、被災地域を食料生産地域として再生させるため、産学官連携による先進的な技術駆使した大規模実証研究を実施し、新技術の普及を目指します。



農地及び農業用施設の復旧状況

項目	着手率	復旧計画など
農地(除塩含む) 約13,000ha	約75%	【復旧計画面積】 約13,000ha 【年度別復旧計画】 平成23年度末 3,250ha 平成24年度末 4,100ha 平成25年度末 3,500ha
農業用施設 (緑水機庫47施設)	約67%	【本年度着手施設数】 27施設 【年度別復旧計画】 平成23年度末 4施設 平成24年度末 21施設 平成25年度末 22施設 (平成25年1月末現在)

宮城県は震災復興に全力で取り組んでいます

新しい農業に若い力結集

■イグナルファーム(東松島市)代表 阿部 聡さん

東松島市赤井の農業生産法人「イグナルファーム」は、津波で被災した30~40代の若手園芸農家4人で2011年末に発足した。計1万2000平方メートルでトマトとキュウリを栽培する。代表の阿部聡さん(34)は同市大曲でトマトやコマを育てていたが、津波で妻と家族5人を亡くし、自宅や農業用ハウスなども流された。失意の阿部さんに専務の佐藤雄則さん(42)が声を掛け、内陸の赤井地区に土地を購入し、被災し離農した2人を誘い、農協が国や県の助成を受けて建てた鉄骨ハウス3棟を借り受け、昨年5月にトマトの苗を植えた。今年1月中旬まで約90トン収穫。間もなくキュウリの収穫も始まる。代表の阿部聡さん(34)は同市大曲でトマトやコマを育てていたが、津波で妻と家族5人を亡くし、自宅や農業用ハウスなども流された。失意の阿部さんに専務の佐藤雄則さん(42)が声を掛け、内陸の赤井地区に土地を購入し、被災し離農した2人を誘い、農協が国や県の助成を受けて建てた鉄骨ハウス3棟を借り受け、昨年5月にトマトの苗を植えた。今年1月中旬まで約90トン収穫。間もなくキュウリの収穫も始まる。法人化による手応えを感じている。4人が総務、税務、生産、販売の各部門の責任者に就くことで、個人経営の頃と比べて販路の拡大などに手が回るようになったという。現在はトマト10品種を試験栽培し、6月に植える品種と栽培方法を検討中だ。規模拡大と共に、若い担い手の育成を目指す。誰でも就農できる仕組みを目指し、24歳の元営業マンを社員に迎えた。方言で「良くなる」を意味する社名には、人、農業、地域、会社に関わる全てが良くなるようにと願いを込めた。阿部さんは「2年後までには沿岸部でイチゴの観光農園を開き、地域ににぎわいを取り戻したい」と前を向いている。

生産基盤の早期復旧

東日本大震災復興復興事業
震災により著しく損なわれた農業生産力を回復させるため、農地・農業用施設等の復旧工事を実施することにより、生産基盤の早期復旧を図ります。 ●お問い合わせ/県農林整備課 022(211)2875

東日本大震災農業生産対策事業
農業・経営の早期再開のため、被災した農業生産施設等の改修、再編整備、農業機械の再取得等に対して助成します。 ●お問い合わせ/県農産園芸課 022(211)2844

被災地域農業復興総合支援事業
被害を受けた市町村が実施する農業生産施設の整備及び農業機械の導入を総合的に支援します。また、地域の意欲ある多様な農業経営体を育成・確保するとともに早期の営農再開を支援します。 ●お問い合わせ/県農業振興課 022(211)2835

市町復興計画に基づいた生産基盤の整備および生産体制の支援

農山漁村地域復興総合整備事業
津波などの被害が著しい農地のうち、ほ場整備などが未整備の農地を中心に、単なる復旧にとどまらない大規模なほ場整備事業などの整備を実施します。 ●お問い合わせ/県農林振興課 022(211)2862

地域農業経営再開復興支援事業
津波で被災した市町村の経営再開マスタープラン(地域の中心となる農業経営体への農地集積や地域農業の将来像を描いた計画)作成に対して支援するとともに、その実現に向け、被災農地集積支援金を交付します。 ●お問い合わせ/県農業振興課 022(211)2835

収益性の高い農業経営の実現

収益性の高い農業経営を実現するため、多様な担い手の参入や共同化・法人化に向けた支援を行います。また、ほ場の大区画化や農地の集積等による大規模な土地利用型農業の実現に向けた支援を行います。あわせて、福作から施設園芸への転換や畜産の生産拡大を図るため、園芸施設や畜舎の整備、農業機械や家畜の導入を支援します。さらに、他産業のノウハウを積極的に取り込むなど、付加価値の高いアグリビジネスの振興を図ります。

活力ある農業・農村の復興

農業・農村の活性化を図るため、都市との交流促進や経営の多角化など、農業の高付加価値化や農村ビジネスの振興に向けた取り組みを支援します。また、農村の持つ多面的機能の維持を図るため、防災対策や自然環境、景観を意識した農村の形成を図ります。

水田の基盤整備にも意欲

■亘理土地改良区 三品 幸徳理事長

亘理、山元両町の農業用水を管理する亘理土地改良区。水を供給している農地4600ヘクタールのうち8割強の3800ヘクタールが津波で被災し、沿岸11カ所にあった排水機場が全て被害を受け稼働停止となった。「津波によって県内で最もダメージを受けた農地を抱えてしまった。用排水路に車や農業資材、がれき流れ込み、もう使えないのではないかと考えた。しかし、排水できないと除塩に取り掛かれないので、関係機関や職員らが大変な復旧作業に頑張ってくれた。理事長の三品幸徳さんは、復旧への努力をたたえる。大震災のあった2011年は約2割の水田の作付けにとどまった。除塩がやや進んだ12年春は、亘理町北部の阿武隈川沿いにある取水口の水門と揚水機場の通水が実現。排水能力が7割程度に回復し、約6割に当たる2060ヘクタールで作付け、収穫した。しかも除塩した水田は被災前よりも作柄が良く、収量も上がった。13年は2630ヘクタールでの作付けを目指す一方、12年度に着手した水田の基盤整備を進める。亘理、山元両町で計2000ヘクタールの水田区画を大型化する。「農地を集積し大規模化が実現すれば、復興につながる。若い担い手が集まるような魅力をつくり、環境を守る持続可能な農業を目指したい」と三品さんは話した。

企画/県広報課 ●お問い合わせ/県農林水産総務課 022(211)2882

県からのお知らせ

宮城県森林インストラクター養成講座受講生募集

森林における野外活動の指導や森林・林業の普及啓発などを行う「宮城県森林インストラクター」を養成する講座の受講生を募集します。 ●応募資格/平成25年4月1日現在で満20~65歳の県内在住の方で、養成講座修了後に野外活動の指導などに積極的に活動できる方 ●定員/40人程度 ●受講期間/4月~平成26年3月 ●申込期限/2月28日(木)(消印有効) ●申込方法/申込書と800字程度の小論文(応募動機と抱負)を下記へ提出 ●選考方法/小論文、面接 ●費用/1回につき1000円(1年間の全課程18回)合計1万8000円程度 ●申込書/下記ホームページからダウンロード、または「養成講座資料請求」と朱書きした封筒に80円切手貼った返信用封筒を同封し、下記へ請求

●県自然保護課 ☎022(211)2676
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sizenhogou/

「みやぎ森林保全協力員」募集

●内容/ボランティアで行う森林の巡視活動(入山者への山火事防止の呼び掛けなど) ●応募資格/①森林保全に興味・知識・経験がある方 ②年間10日程度巡視活動ができる方 ③県内在住で20歳以上の方 ●定員/50人程度 ●募集巡視区域/県内の希望地域で、特に仙台市外(調整する場合あり) ●応募期限/2月28日(木)(消印有効) ※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。 ↓か、下記お問い合わせください。 ●最寄りの県地方振興(地域)事務所 林業(森林)振興課 ●県森林整備課 ☎022(211)2921
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sirin/

山仕事ガイダンス・林業就業・雇用講習を開催します。

●内容/①講話「育児・介護と仕事の両立を図るために」②ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業による事例発表③情報交換およびワーク・ライフ・バランス支援アドバイザーの須田直樹氏による助言 ●対象/ワーク・ライフ・バランスに取り組もうとする県内の企業経営者、人事労務担当者など ●日時/2月19日(火)午前10時~午後4時 ●場所/県林業技術センター(大衡村) ●申し込み/2月15日(金)(必着)までに、所定の申込用紙に必要事項を記入し、ファクシミリまたは郵送で下記へ ●県林業振興課 ☎022(211)2914 FAX 022(211)2919 〒980-8570 仙台市青葉区本3-8-21

出前ジョブカフェ

仙台市内から遠隔地に住む39歳以下の求職者の就職を支援します(参加無料、要予約)。 ●内容/就職支援セミナー、キャリアカウンセリングなど ●期日/場所/①2月5日(火)、22日(金)・大崎市市民活動サポートセンター②2月6日(水)、13日(水)、20日(水)、27日(水)・県気仙沼合同庁舎③2月7日(木)、14日(木)、21日(木)・ハローワーク石巻立町臨時庁舎④2月12日(火)・塩竈市民館⑤2月15日(金)・亘理町連環公民館⑥2月19日(火)・大河原町駅前コミュニティセンター⑦2月20日(水)・岩沼市役所⑧2月25日(月)・登米市追分公民館 ※詳しくは、下記お問い合わせください。 ●みやぎジョブカフェ ☎022(217)3562
http://www.miyagi-jobcafe.jp/

ワーク・ライフ・バランス推進セミナー

県では、「ワーク・ライフ・バランス」に取り組む企業の皆さんを支援するため、セミナーを開催します。 ●内容/①講話「育児・介護と仕事の両立を図るために」②ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業による事例発表③情報交換およびワーク・ライフ・バランス支援アドバイザーの須田直樹氏による助言 ●対象/ワーク・ライフ・バランスに取り組もうとする県内の企業経営者、人事労務担当者など ●日時/2月7日(木)午後1時30分~4時、仙台サンプラザホール②2月12日(火)午後1時30分~3時30分・石巻クラフトホール③2月20日(水)午後1時~3時・気仙沼プラザホール ●県雇用対策課 ☎022(211)2772

測量士・測量士補国家試験

●試験日/5月19日(日) ●試験会場/宮城県ほか全国13都道府県 ●願書/下記および県の各土木事務所配布

●出願/2月8日(金)までに国土地理院総務部総務課 ☎022(211)2762 FAX 022(211)2769
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sanzin/

●国土地理院総務部総務課 ☎029(864)8214
●国土地理院東北地方測量部 ☎022(295)8611
●県用地課 ☎022(211)3122

宮城障害者職業能力開発校 平成25年度短期課程訓練受講生募集

●科名/①パソコン実務科(ワープロ・表計算などの基本操作)②パソコン基礎科(音声/パソコンによるワープロ・表計算などの基本操作) ●対象/定員/①身体障害者手帳所持者・10人②重度視覚障害者(身体障害者手帳1、2級所持者)・5人 ●訓練期間/①4月10日(水)~7月19日(金)②4月16日(火)~9月20日(金) ●訓練場所/宮城障害者職業能力開発校 ●申込期限/3月1日(金) ●選考日/3月14日(木)面接 ●合格発表/3月21日(木) ●費用/①教科書代1万円程度②無料 ●申込先/各ハローワーク

●宮城障害者職業能力開発校 ☎022(233)3124 FAX 022(233)3125
http://www.pref.miyagi.jp/site/miyashou/

宮城大学平成25年度前期科目等履修生募集

4月から開講する授業を履修できる科目等履修生を募集します。 ●募集期間/2月18日(月)~26日(火) ●募集要項/下記ホームページからダウンロード、または240円切手貼った角形2号の返信用封筒を同封し、下記へ請求 ●宮城大学大和キャンパス(看護学部・事業構想学部・大学院) ☎022(377)8312 〒981-3298 大和町学路1-1 ●宮城大学太白キャンパス(農産学部・大学院) ☎022(245)1121 〒982-0215 仙台市太白区立2-2-1
http://www.myu.ac.jp/

「はたちの献血」キャンペーン

2月28日まで「はたちの献血」キャンペーンを展開しています。寒さが厳しいこの季節は、献血にご協力いただける方が少なくなります。新成人の

仙南地域食品工場見学 モニターツアー参加者募集

仙南地域の食品工場をバスで巡り、仙南地域の「食」を学びます。 ●期日/3月7日(木) ●見学場所/玉松味噌醤油、きち製菓、仙台ココア・コロコロダックス蔵王工場 ●集合時間/場所/①午前9時20分・JR仙台駅西口観光バスプール②午前10時30分・JR大河原駅前(いずれも) ●対象/18歳以上の方 ●定員/20人(先着順) ●参加費/無料(昼食代は各自負担) ●申し込み/2月25日(月)までに住所、氏名、年齢、電話番号、集合場所をファクシミリまたはEメールにより下記へ ●仙南地域食品工場振興事務所地方振興部 ☎0224(53)3182 FAX 0224(53)3076 Eメール oksinbk2@pref.miyagi.jp
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/oksgsin-e/monitor-tour.html

県議会2月定例会開催

2月19日(火)午後1時から、2月定例会の本会議が開催される予定です。本会議と委員会は傍聴できるほか、インターネットでも本会議の様子をご覧いただけます。【ラウンジコンサート(開会初日)】 ●日時/2月19日(火)午後0時15分~45分 ●場所/県議会議堂1階ラウンジ ●募集期間/3月1日(金) ●出演/ひたち女声コーラス(女声合唱) ●曲目/花、民謡(ひてご節)ほか ●県議会議務局総務課 ☎022(211)3571
http://www.pref.miyagi.jp/site/kengikai/

東北歴史博物館ボランティア募集

●活動内容/屋外展示施設「今野家住宅」での解説・管理補助(月2回程度)、および各種体験教室での指導補助など ●活動期間/4月~平成26年3月(事前に養成講座あり) ●定員/10人程度 ●募集期間/3月1日(金) ※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。 ●東北歴史博物館 ☎022(368)0106
http://www.thm.pref.miyagi.jp/

東北歴史博物館解説員(非常勤)募集

展示資料の説明や受け付け・案内などを行う解説員を若干名募集します。 ●対象/高校卒業以上で、歴史に関心のある方 ●募集期間/2月5日(火)~19日(火)(必着) ※詳しくは、下記ホームページをご覧ください。 ●東北歴史博物館 ☎022(368)0106
http://www.thm.pref.miyagi.jp/

※「みやぎ県政だより」1月号13ページ「お出かけガイド」に掲載したお問い合わせ先の電話番号が変更になりました。

スキー場「泉ヶ岳スキー場」
変更後 TEL 022(379)1250
変更前 TEL 022(379)3104

企画/県広報課